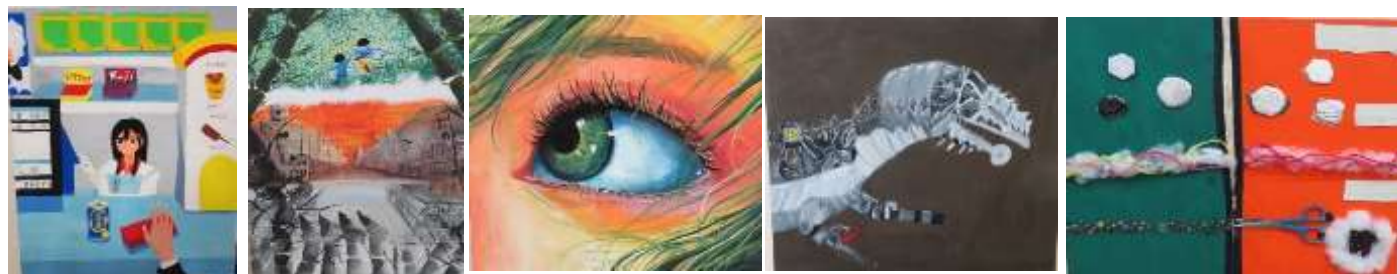


## 8 年展示 「旅 ～今、磨いた自分を見せるとき～」



●8年生は今、課題になっていることに対して、知恵と工夫と努力で、自分自身で解決していくことをテーマにした素晴らしい展示作品でした。架空の老舗和菓子店「能せ屋」の経営危機を立て直す起死回生の商品開発をする和菓子の作品の出来栄と技術の高さに驚きました。また、今の能勢町の課題である「公園づくり」「人口減少」「空き家の活用」「旧小中学校有効活用」など、中学生の案を直接、町へ本当に提案してほしい内容でした。地域事業所インターンシップのまとめを新しいアプリ「canva」を使いこなした作品に8年生の成長と今後の可能性を感じました。

## 藝術部展示 大芸術展 「未来・現在・過去」



●制作とは、日々自分と向き合い続けること。その中で見えた未来、振り返る過去、その狭間の現在。部員たちは作品をつくる中で、何をみたのか？作品を通してみる者に語りかける。今年はアニメや漫画の模写でなく、自分の未来と過去、そして今をみつめて、自問自答しながら、考え、悩み、そこから産み出された作品ばかりでした。作品と書かれたコメントもそれぞれに個性、生活、内面、自分…があり、中学生の心がダイレクトに伝わってきました。自分自身のオリジナル作品。これからも自分と向き合って、自分が表現したい作品をつくり続けてください。写真は9年生の作品を掲載しました。7年生・8年生も素晴らしい作品を描いています。

## 児童会・生徒会 司会進行 幕間のクイズ あいさつ

●児童会、生徒会のみなさん。司会進行のアナウンス、あいさつ、幕間のクイズ。大変良かったです。舞台発表は、準備に時間がかかります。発表した学年の演目にちなんだクイズを出して、幕間で退屈をしないように工夫を凝らしてくれました。児童会生徒会役員のおかげで、体育館フロアの雰囲気が大変良かったと思いました。



## 自信と誇りを持ち ON とOFFのけじめ 「本気」で取り組もう！

●こんな素晴らしい学習発表会をしている「能勢ささゆり学園」は、本当にすごい学校です。参加された方が舞台発表と展示発表を見て、大変感動されてました。みんなが「本気」になれば、このような発表ができます。劇、歌、合奏、絵や工作や新聞などの作品づくり、ささゆり学園の子どもたちは、本当にすごいことをやっています。自信と誇りを持ってください。今日から、さらに自分自身を高め、いざというときに「本気」スイッチを入れて、ONとOFFのけじめをしっかりつけて、これからの学校生活を送ってほしいと思います。